

■食品や野菜の放射能測定機器の導入について■

福島第一原子力発電所における事故の影響により、原発周辺地域はもとより関東全域で農産物の風評被害が深刻な問題となっております。

風評被害を無くし、消費者に安全な農産物を安心して食べて頂きたい、子供達には、出来るだけ数値の低い物を選びたい。その為には放射能検査を実施し科学的に安全を証明する事が重要です。

当社では20年以上も前から有用微生物EM菌を取り扱い、無農薬、有機栽培で安心な野菜作りや、米作りを勧めて、家庭菜園や農家の皆様にもご利用頂いてきました。

事故後も、当社に各農業関係者や消費者の皆様から問合せが多く、EM菌や光合成細菌による土壌汚染対策等も検討されております。

更には、放射能測定器（線量計）も多数あり、どれが良いのかとの問い合わせが多く

当社でも環境放射線モニターの取扱いを開始しました（線量計『ラディ』は最後にご紹介しております）

※安全・安心な農作物を作りたい・届けたい・食べたい

-に行き着くと、どうしても食品の放射能測定機器の導入を検討しなければ、生産者、消費者のニーズに答えられません。特に、個人生産者や主婦の方々からは低料金での測定を希望されています。

そこで当社では、食品の放射能測定器の選定を検討いたしました。

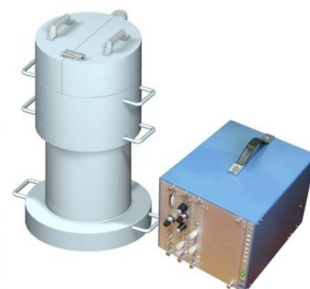
幸いにして放射能測定器（線量計）の取扱いをしていましたので、食品の放射能測定機器も多種多様な機種、取扱いメーカー、商社、代理店からの選定が可能でした。

その結果、国内生産メーカー、技術者が常駐しメンテナンス可能な企業が一番安心で安全であると確信いたしました。この機種は現在国内で20台実際に稼動しており、多くの実績があります。

微量放射能濃度測定装置（食品放射能測定機器）

約500万円です。

製品内容は裏に詳しく掲載しております。



※代理店登録募集のご案内※



■会社（企業）-地域のお客様から測定を依頼されて当社に送るだけ-

代理店として1口10万円の委託金（原則3年以降はいつでも返却可能とします）

1検体価格（野菜・米・魚・肉・牛乳・土壌・地下水等）・・・約1kg又は1ℓ

・尚、計量法に基づく「計量証明書」は発行できません。

●検査料4000円(数値測定表付き) 検体数は特に決めませんが多くなった場合は再検討します。

●代理店以外の測定料金は8000円・・・状況によっては測定料金の変動がある場合もございます。

*代理店は常時受け付けますが出来れば9月～10月頃締め切ります。→『2012年3月より測定予定』

*地域のお客様の為にも是非登録をお願いします。

*まだまだ原発の収束ができない状態で今後の予測がつかず、必ず必要な機器と考えて下さい。

-食品の測定を依頼した場合-

測定限界10Bq/kg の場合は2万円以上

埼玉県つくば市の分析センターでは、1検体8000円で測定してくれます（検体の送料は自己負担）

この料金はかなり低料金となり、今でも多くの方が測定依頼を希望していますが、処理能力以上の依頼が来ているそうです。→測定限界20Bq/kg の機器を使用：精度的には少々不安です。



『線量計ラディ』放射能測定機ラディは国内産で信用のおけるメーカーで、文部科学省推奨の「はかる君」も同等機種として製造されました。「メーカー：堀場製作所」シンチレーション検出器は精度が優れた機械として線量計としては最適です。価格は131,250円が→128,900円です。専門の知識がなくても微弱なγ線を、簡単に精度よく測定できるハンディタイプの測定器です。測定数値も0.000まで測定できる精度の高い精密機械といって良いでしょう。国内製でメンテナンスもしっかりしています。在庫5台のみ即納可能

■食品や野菜の放射能測定を低料金で■

福島第一原子力発電所における事故の影響により、原発周辺地域以外にも全国の地域で農産物の風評被害と食の問題が未だに深刻な問題となっております。

風評被害を無くし、消費者に安全な農産物を安心して食べて頂きたい、子供達には出来るだけ数値の低い食べ物を選びたい。その為には、放射能検査を実施し科学的に安全を証明する事が重要です。

当分析センターは、企業や家庭を預かる主婦（子供達の食べ物検査）、及び農業を応援するため、ガンマ線スペクトロメータによる核種分析を低価格でご案内いたします。

検査の特徴

ガンマ線のスペクトル測定が可能です。

I-131、Cs-134、Cs-137の核種分析に対応

高い計数効率を持った高感度3×3インチNaI(Tl)検出器を使用（通常のサーベイメータは1×1インチNaI(Tl)検出器を使用）

厚さ50mmの鉛シールドの利用でバックグラウンドを1/10以下に低減し高感度測定が可能

重量：240kg 外寸Φ260×540（H）mm

厚生労働省「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」

および文部科学省「NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータ機器分析法」に準拠

検査方法

NaI(Tl)シンチレーション検出器（Φ3×L3インチ）ガンマ線スペクトロメータによる核種分析を検出しデータ処理装置により解析演算処理し放射能濃度を求め、測定結果はPCに保存可能

※定量下限値：一般測定限界が**20Bq/kg**ですが → この機種は10Bq/kg以下が可能です。

検出時間 約17分（1,000秒）

検査機器

「微量放射能測定装置」（食品放射能測定機器）

※農林水産省より牛肉のスクリーニング検査での使用が認められています。

測定項目

- ・放射性ヨウ素（I-131）
- ・放射性セシウム（Cs-134, Cs-137）

測定結果の印刷

測定日・測定時間・質量・上記項目

測定対象

農産物、畜産物、土壌、飲料水、地下水

※農業関係の試料に限る

（工業製品、焼却灰、汚泥等を除く）

検体必要量

1kgまたは1L以上

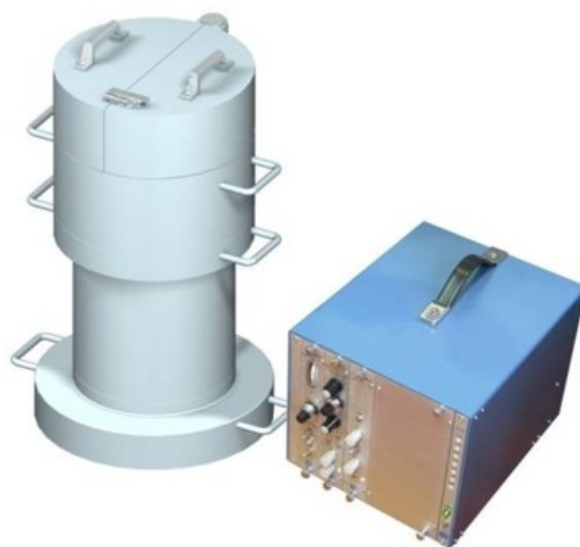
検査料金

8,000円（税込）/1検体 数値測定表付き

※地域の代理店をご紹介します。

測定実施日 **2012年3月1日より稼働予定**

※放射能数値が非常に高い場合は検査物を着払いでお返しする場合がございます。



数値測定表の発行元は
パスポート分析センター：放射能核種分析測定表を発行します。

尚、計量法に基づく「計量証明書」は発行できません

管理者：オペレーター：私が責任をもって行います。

岩手県北上市九年橋3丁目14-20（ピックハウス様向い）

TEL:0197-61-3344 FAX:61-3345

時間外連絡先 090-7930-7006（川辺公雄まで）

※食品放射能測定機器はパスポート店内に常設します。

